

COVID-19 流行下におけるギラン・バレー症候群の罹患率に関する研究

2018年1月1日から2020年12月31日までにギラン・バレー症候群のために入院した患者さん

研究協力をお願い

当科では日本医科大学付属病院主導のもと他施設と協力して「COVID-19 流行下におけるギラン・バレー症候群の罹患率に関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに施設長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2018年1月1日から2020年12月31日までにギラン・バレー症候群を発症し入院した患者さんの患者数を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：COVID-19 流行下におけるギラン・バレー症候群の罹患率に関する研究
研究期間：2022年4月27日～2023年12月31日
研究責任者：日本医科大学付属病院 脳神経内科 永山 寛

(2) 研究の意義、目的について

この研究は、COVID-19 流行下でギラン・バレー症候群の患者さんがどのくらい変化したかを調べます。手洗いやうがい、3密を避ける、あるいは外出を控えるなどの予防策により、風邪や胃腸炎などが減ることが予想されます。ギラン・バレー症候群はまだ原因がよく分かっておりませんが、一部の患者さんはそのような感染を契機に発症することが知られており、感染予防によって患者さんが減ることが考えられます。この研究は、感染予防策によってギラン・バレー症候群の患者さんが減るかどうかを明らかにすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2018年1月1日から2020年12月31日までに帝京大学大学脳神経内科にてギラン・バレー症候群で入院した患者さんの数を調べます。
この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。
試料：なし
情報：年齢、性別、発症年月、先行感染の有無、症状の経過、髄液検査値、自己抗体の有無

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

帝京大学医学部附属病院 脳神経内科 北國圭一
〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1
電話番号：03-3964-1211（代表） 内線：7350
メールアドレス：k.hokkoku@med.teikyo-u.ac.jp